

12月定例会

平成21年12月定例会は、12月14日から18日までの会期で開かれ、条例の一部改正をはじめ、補正予算などの審議を行いました。

審議した議案などの内容と結果は次のとおりです。

決算認定

〔平成20年度箱根町一般会計及び11特別会計歳入歳出決算の認定〕

閉会中の継続審査として、決算特別委員会に付託されたいた決算の認定は、3日間にわたる同特別委員会で、8人の委員から50項目について質疑が行われ、慎重審議の結果、原案のとおり認定しました。

一般会計では、歳入が90億812万円で、前年に比べ0.5%の増となっているが、これは、主に前年度繰越金の増によるものであり、町税をはじめとする他の歳入はそのほとんど

どが、減収となっている。世界的な金融危機に端を発し、た著しい景気後退の影響から、当町においても、法人税は企業の事業収益の悪化から大幅な減収となり、さらには、町たばこ税や入湯税も減収となつた。また、地方消費税交付金をはじめとする各種交付金も減収となり、町の財政状況は依然として大変厳しい状況が続いていることが伺われる。

しかしながら、このような

状況の中であつて、事業執行に際しては、国・県補助金など、特定財源の確保に努める

とともに、町債の借り入れや基金を活用するなどして、財源確保に十分配慮するなど、的確な対応が図られているものと思われる。

なお、町税の滞納繰越額が前年に比べて増額し、7億8,000万円余りとなっていること

は、税負担の公平を期す観点からも問題であり、滞納整理に今まで以上に取り組ま

れるとともに、他の収入未済額についても、さらに減少に努められることを望む。

一方、歳出については、財政

の健全運営を基本理念とし、執行がなされているものであ

り、日ごとに多様化する住民の要望にこたえ、生活の安定、福祉の充実を図るために、施策の選択と経費の徹底した節減を積極的に行うとともに、町では二つ目となる湯本幼児学園の建設や子育て支援事業、健康づくり推進事業や老人生きがい対策事業などの教育・福祉施策の充実、前年度に引き続き箱根の玄関口である箱根湯本ターミナルの整備や町道の整備など環境・社会基盤の整備、さらには箱根トラスト推進事

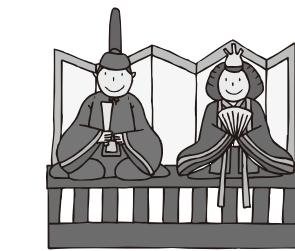
業として、仙石原すすき草原の一部を購入するなど、住民福祉の向上に大きな成果が得られたものと思料する。

また、不用額が(※)3億154万円ほど生じたが、大半は、限られた財源を工夫して財政運営を図ることを望む。

最後に、第5次総合計画の目標である「人・心・自然、やさしさと出会いを創造する町「箱根」」の実現を積極的に推進するとともに、本特別委員会における審議過程での意見、指摘事項等に十分留意し、今後とも適正な行財政運営を図ることを望む。

平成20年度歳入歳出決算認定審議状況

一般会計	賛成多数
国民健康保険特別会計	賛成多数
老人保健特別会計	全員賛成
後期高齢者医療特別会計	賛成多数
介護保険特別会計	全員賛成
温泉財産区特別会計	全員賛成
宮城野財産区特別会計	全員賛成
仙石原財産区特別会計	全員賛成
蛸川財産区特別会計	全員賛成
温泉特別会計	賛成多数
育英奨学金特別会計	全員賛成
下水道事業特別会計	賛成多数



平成20年度 一般会計・特別会計の決算状況

会計別	予算現額 千円	収入済額 千円	支出済額 千円	收支差引額千円
一般会計	9,398,181	9,008,119	8,867,853	140,266
特別会計	国民健康保険	1,751,101	1,744,394	1,684,421 59,973
	老人保健	154,525	137,670	140,116 △ 2,446
	後期高齢者医療	273,000	241,651	238,269 3,382
	介護保険	854,872	820,972	808,411 12,561
	温泉財産区	2,513	2,527	1,891 636
	宮城野財産区	2,184	2,461	2,012 449
	仙石原財産区	700	811	439 372
	蛸川財産区	880	1,433	644 789
	温泉	171,200	180,435	163,639 16,796
	育英奨学金	51,500	50,377	46,962 3,415
下水道事業	1,945,136	1,907,241	1,857,338	49,903
	小計	5,207,611	5,089,972	4,944,142 145,830
合計	14,605,792	14,098,091	13,811,995	286,096

※ 予算現額9,398,181千円－支出済額8,867,853千円－繰越額228,787千円=301,541千円